

教科	美術	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陶芸（表現・鑑賞） 「絵皿スクラッチの技法」	11	・陶芸のよさや美しさに関心を持ち、絵付けの図案を工夫し、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・スクラッチの技法の特徴を理解し、制作に意欲的に取り組む。	・陶芸の制作過程に興味を持ち、スクラッチの技法を理解している。 ・表現方法の特性を生かし、意図に応じて工夫して表している。	・見る人を引き付ける発想や魅力ある配色と画面構成を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	・陶芸の制作過程に興味を持ち、絵付けの表現学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、自分や友達などの作品の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞 「仏教美術と日本の文化」	2	・仏教美術に関心を持ち、仏像の形や色彩、材料などの特徴や印象、本質的なよさや美しさを主体的に鑑賞したりする。	・形や色彩など造形的な特徴を基に、美しさや作風などを捉えることを理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、社会的背景や、作者の心情を思い描くなどをして、見方や感じ方を広げている。	・仏像の形や色彩、材料の特徴や印象など、自分の価値観を持って鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
彫塑基礎（表現・鑑賞） 「石彫」 篆刻・柱	14	・篆刻制作に関心を持ち、印としての機能や造形的な美しさを基に構想を練り、工夫して創造的に表す。 ・篆刻のよさや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって鑑賞したりする。	・平面作品との違いに気づき立体の特性や魅力を理解している。 ・材料の特性を生かし、自分の表現方法を工夫して立体として表している。	・美しさや使いやすさの観点から発想を広げ、構想を練っている。 ・作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取り多様な表現のよさなど、見方や感じ方を広げている。	・彫塑作品のよさや美しさに関心を深め、篆刻の制作活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、自分や友達などの作品の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

鑑賞 「西洋の美術」	2	・美術作品に関心を持ち、作者の意図、表現の工夫などを読み取り、そのよさや美しさなどを感じ取る。 ・他者と意見交換しながら、美術作品についての見方を広げ鑑賞の喜びを味わう。	・色彩や人物の表情、構図などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を広げている。	・作者の心情や表現意図と工夫について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
絵画（表現・鑑賞） 「心情表現」	6	・自己を見つめ、伝えたいテーマに必要な技法を工夫して、独自の美しさを表す。 ・伝えたいテーマにそって発想し構想を練ったり鑑賞したりする。 ・心情表現に関心を深め、資料収集し、意欲的に取り組む。	・色彩の持つ性質や感情効果、機能などを理解している。 ・色、線、形や画材の特性を生かし、独自の美しさを追求し表している。	・自己の思いを線や形・色彩等に反映させて、豊かに表現する構想を練っている。 ・作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取り多様な表現のよさなど、見方や感じ方を広げている。	・卒業の準備段階として、感謝の念を主体的に持ち、表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、自分や友達などの作品の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。